岡山大学疫学・衛生学分野ニュース vol.4

新型コロナ情報
「乳幼児新型コロナウイルスワクチン接種後副反応調査最終報告について」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野では、岡山県等と協働で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策を進めています。これらの活動を通じての調査や分析などの研究情報を、いち早く社会の皆様にお届けするためのニュースレター「岡山大学疫学・衛生学分野ニュース（新型コロナ情報）」を発行しています。この度、vol.4（2023 年 6 月 19 日）を発行しました。本ニュースは、専門の方向けではなく、一般の方向けとしてわかりやすい言葉で紹介しています。

新型コロナの感染症法上の位置づけが「5 類」に移行し、新規感染者数は定点把握による発表に変更となりましたが、全国的にゆるやかな増加傾向が見られており、感染状況を注視していく必要があります。今後も、皆様の感染対策の参考にしていただけるような正確な情報の提供を行ってまいります。

＜発表のポイント＞

1. 岡山県の依頼を受け、岡山県内の協力医療機関で、生後 6 か月～４歳対象のファイザー社製乳幼児用新型コロナウイルスワクチンを接種した者を対象に、接種後副反応調査を行った。（のべ 515 名、内訳 1 回目接種 261 名、2 回目接種 168 名、3 回目接種 86 名）
2. 局所反応については、１回目、２回目、3 回目ともに成人と比較して、副反応の出現割合は低かった。
3. 発熱の出現割合について成人と比較すると、１回目は高く、２回目、3 回目は大幅に低くなっている。これに関し、乳幼児には日頃から発熱しやすい特性があり、本調査においても感冒など副反応以外の発熱が含まれると考えられるが、成人や小児接種で報告されたほどの、１回目から２回目、3 回目にかけての大きな発熱割合の上昇は認められず、乳幼児では副反応による発熱の頻度は低いと解釈している。
4. 症状がある場合でもほとんどは接種翌日までに治まり、接種 3 日目以降まで持続するケースは少なかった。
5. 性別、年齢、基礎疾患、アレルギー歴、COVID-19 感染歴の有無により、接種部位の腫脹と 37.5 度以上の発熱の出現頻度は統計学的に有意な差が無かった。
6. 接種理由として大多数が、お子様自身の感染や重症化を予防するためと回答した。

◆内 容

岡山県の依頼を受け、ワクチン接種後の副反応の頻度を評価し、一般の方へ正確な情報提供を行うことを目的に、ファイザー社製乳幼児用新型コロナワクチン接種後副反応調査を実施いたしました。岡山県内の協力医療機関において、生後 6 か月～４歳対象のファイザー社製乳幼児用新型コロ

ナウイルスワクチンを接種した乳幼児の保護者を対象に Google Form によるアンケート調査を実施し、2022 年 11 月 10 日～2023 年 5 月 2 日の間の調査回答（のべ 515 人）分を集計して、6 月 8 日に最終報告としてまとめました。

今回の調査では、1 回目、2 回目、3 回目ともに、接種後の局所反応は、成人と比較して少ないという結果でした。発熱については、乳幼児には日頃から発熱しやすい特性があるにもかかわらず、１回目から２回目・３回目にかけての発熱割合の上昇は、成人や小児接種で報告されたほど大きくなかったことから、乳幼児では副反応による発熱の頻度は低いと思われます。

また、接種部位の腫脹と 37.5 度以上の発熱の出現頻度については、統計学的にみて、性別、年齢、基礎疾患、アレルギー歴、COVID-19 感染歴の有無による差がありませんでした。

その他の副反応についても、ほとんどが接種翌日までに治まっており、接種 3 日目以降も症状が続くケースは稀でした。

乳幼児への接種理由としては、大多数の保護者が、お子様自身の感染や重症化を予防するためと回答しています。

今回、岡山県内の協力医療機関のご尽力で、多くのデータが集まり、統計的に安定した結果を得ることができました。今後の乳幼児へのワクチン接種を考える際の判断や準備の参考にしていただけますと幸いです。

◆調査成果の詳細情報

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野ホームページに掲載

URL：http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=4923

◆本件お問い合わせ先

岡山大学 学術研究院 医歯薬学域（医）疫学・衛生学分野

教授 頼藤貴志

助教 松本尚美

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学鹿田キャンパス 基礎研究棟 7 階

E-mail：ocdc◎okayama-u.ac.jp

※◎を@に置き換えて下さい

http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN | Japan. Committed to the SDGs | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS | 岡山大学 OKAYAMA UNIVERSITY

国立大学法人岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」を支援しています。また、政府の第 1 回「ジャパン SDGs アワード」特別賞を受賞しています